

国際特許取得



…ホントは怖い床下からの湿気…
対策は万全ですか？



シロアリ



家ダニ



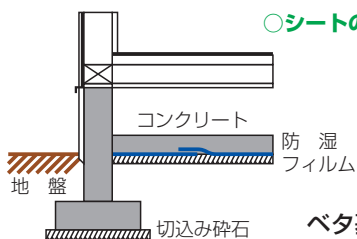
土台のカビ・腐食

床下の湿気は、シロアリの害・家ダニの害・床下のカビや腐朽菌の発生等
様々な状態を引き起こします。また家屋への被害が悪化すれば、大切な
ご家族にまで健康面での悪影響を引き起こすことがあります…

従来工法と新方式「環炭工法」との違いと特徴

従来工法の場合

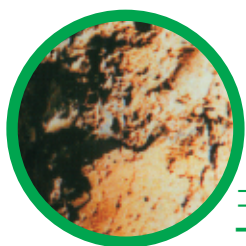
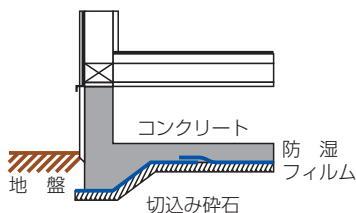
布基礎工法



○防湿フィルムを使用

○シートの重ね部分は150mm以上必要

ベタ基礎工法



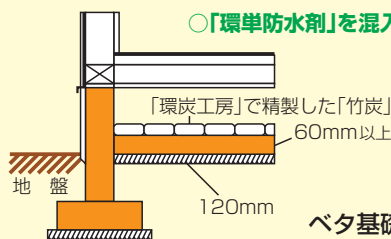
コンクリート劣化促進試験
一般のコンクリート

従来工法の場合は、地盤面に防湿フィルムやシート類を敷設した上に、鉄筋を組んで生コンクリートを流し込んで基礎を作ります。この場合にあげられる**問題点**は次のとおりです。

- ①コンクリートが地盤の砕石や土に馴染んで地面と一体化した強固な基礎ができるが、防湿フィルムやシートを敷設するため、**地盤面とコンクリートを遮断、ヒビ割れが発生**しやすくなります。
- ②防湿フィルムを単に重ねて敷いた上に、鉄筋を組んで生コンクリートを流し込む等の作業のため、作業中に**シートが破れてしまう**ことがあります。シートに小さな欠損でもあれば、普通コンクリートは水分を吸収、そこから全体に広がって防湿の役目を果たせません。
- ③防虫剤等の薬剤を染み込ませたフィルムを敷設する場合もありますが、かえって耐久性不安定となり、**健康被害の原因**にもなります。防湿フィルムの上に土をのせるという簡易工法もありますが、**気休め程度**で、高い効果は期待できません。

環炭工法の場合

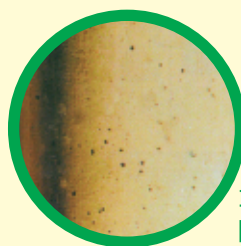
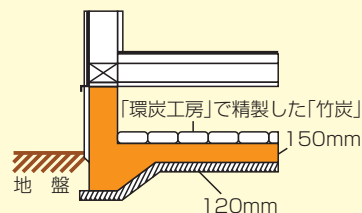
布基礎工法



○シート類敷設の必要なし

○「環単防水剤」を混入したコンクリートのみ打設

ベタ基礎工法



コンクリート劣化促進試験
「環単防水剤」混入コンクリート

「環炭工法」の「土間(基礎)コンクリート防水・防湿加工」の場合は、鉄筋を組んだ型枠の中(赤銅部分)に、「環単防水剤」を混入した生コンクリートを流し込むだけです。防湿フィルムやシート類を敷設する必要はありません。「**環単防水剤**」(高性能防水剤)を混入した**コンクリートを基礎や土間に打設していただくだけで地盤に密着した強固な基礎**ができ、効果は**長く持続し、アリ・ダニ・カビとは縁のない環境作り**ができます。

さらに、「環単防水剤」を混入したベタ基礎の上に「環炭工房」で精製した「床下調湿用竹炭」を敷き詰め、「専用床下ファン」で床下の湿度は安定します。「竹炭」はほとんど交換の必要がありません。

- 「環炭工法」に関しては、**加盟のハウスメーカー様や工務店様の施工担当者**の方にご相談・ご用命ください。
- 「環炭工法」取扱店では、「イヤシロチ(磁場補正した土地)」で話題の「**磁場測定**」・「**磁場補正**」のご相談も受け付けております。

生コンクリートへ環単防水(KP-1010)を混入・攪拌して施工するだけです

5m³積載の車1台(若干固めの生コン[スランプ:12~15cm])につき3~5パック(30~50kg)が目安です。環単防水(KP-1010)を投入すると若干やわらかく(スランプ:2~3cm)なります。環単防水(KP-1010)を生コン車のホッパーから投入し90秒間高速攪拌します。環単防水(KP-1010)を混入した土間等の場合、浮水が少ないため、早めにコテ押さえの準備をしてください。

■商品ご理解のために

○製品改良のため仕様・デザインの一部を予告なく変更することがあります。○「オープン価格」の商品ですので希望小売価格を定めておりません。価格については販売店にお問い合わせください。

TRUTH CO.,LTD.

株式会社 トゥルース

愛知県一宮市森本2丁目2番5号(〒491-0831)
TEL 0586-72-2203 FAX 0586-72-1793
http://www.kk-truth.co.jp/sumiyaki/
E-mail info@kk-truth.co.jp

環炭工法®は株式会社トゥルースの登録商標および特許商品です

このカタログは2005年4月に作成いたしました

お問い合わせ先